

# みよし

議会だより

174

2019年11月1日発行

## 台風19号による 町内の被害状況

平成30年度の決算を認定しました  
どうなる?三芳町のお財布事情  
一般質問(13人が町政を問う)

▶p.2

▶p.6

▶p.12

▶表紙写真に関する記事が10ページにあります。

議会だより発行月

2月

5月

8月

11月

次の発行は2月1日の予定です。



# 認定しました

令和元年  
第5回 定例会  
(8月30日~9月24日)

令和元年第5回定例会が8月30日から9月24日まで26日間の会期に渡り開催されました。この定例会では町長提出の報告6件、議案10件、同意1件、認定6件があり、すべて原案通り「可決」「認定」されました。

また、議員提出の意見書3件のうち、2件を「可決」、1件を「否決」としました。一般質問では、13人の議員が4日間に渡り、活発な議論を展開し、それぞれの視点で町政を問いました。

一般会計歳入総額

**137億 2540万 7610円**

前年度比 3億 2097万 3504円増

一般会計歳出総額

**127億 2620万 6618円**

前年度比 5582万 481円増

一般会計歳入歳出の差引残額

**9億 9920万 992円**

前年度比 2億 6515万 3023円増

## 決算委員会で委員より提起された意見

- ①同一事業に対し複数の款の費目より支出があった。今後はしっかりと整理をすることが必要ではないか。
- ②一部において決算書の訂正があったので、決算書の作成は十分に精査すべきではないか。
- ③国際交流事業としての中学生海外派遣事業だが、今後は財政状況や事業数など精査し、必要な職員の採用と育成を計画的に実施すべきではないか。
- ④中国の世界農業遺産の先進地視察が、東アジア農業遺産学会への先進地視察の残金が使われた。本来は補正等で対応すべきではなかったか。
- ⑤建築物耐震改修促進事業が未執行となったが、利用促進のため固定資産税等の減免措置なども周知徹底すべきではないか。
- ⑥自然の森・レクリエーション公園の防球ネット工事が終了したが、地域住民の安全安心には不十分ではないか。
- ⑦歴史民俗資料館の文化財収蔵庫借上料が年間336万円で既に9年継続しているが、経費削減の検討をすべきではないか。
- ⑧公共交通補助事業については、利用者の申請・請求に関する手続きの簡素化や補助金の増額など検討すべきではないか。

# 令和元年 第5回三芳町議会定例会 平成30年度の決算を



## 一般会計決算 平成30年度に実施された新規事業

### ◆公共交通補助事業 190万円

75歳以上の方を対象に年間5000円の補助を行う

### ◆学校トイレ改修工事設計業務委託 333万円

三芳小学校・唐沢小学校のトイレ洋式化に向け設計を行う

### ◆コミュニティ・スクール推進体制構築事業 27万円

学校と地域住民が力を合わせて学校の運営に取り組むため研究を進めた

### ◆スズメバチ等駆除事業補助金 15万円

スズメバチ等の巣の駆除処理に対し1件5000円の補助を行う

## 反討 対論 日本共産党

学校トイレ洋式化改修事業、スズメバチ等駆除補助金、公共交通補助事業等は評価できるが公共交通事業は更に利用しやすく改善が必要。国際交流事業は財政全体でのバランスを考え精査すべき。残債1億6千万円を残しての町立第二保育所建物無償譲渡、三芳スマートICへの財政集中には賛成できない。

## 賛討 成論 輝

中学生海外派遣事業で出発時刻の確認が直前までされなかった。一つの事業に対して複数の款から予算が執行されるなどの課題がみられた。職員配置の適正化、各事業の必要性の精査等を求めるが、適切に予算は支出されていたので賛成する。

## 賛討 成論 公明党

財政厳しい中、高齢者への公共交通補助事業や学校トイレの洋式化事業、被災者支援システムの導入、スズメバチ等駆除への補助等、公明党が要望した事業が行われた事を評価する。今後も行財政改革に努め、防災対策や交通安全対策に努めるよう要望し、賛成する。



# の 主 な 質 疑

平成30年度決算を議長、監査委員を除く13名で3日間にわたり審議しました。

## ◆ 歳 入 ◆

**問** 台風24号による農業施設被害への補助金は。

**答** 工事を完了次第順次支払われる。令和元年度に補助金が入るので支出していく。

**問** 県補助金として地域自殺対策緊急強化交付金が交付されているが、町内の平成30年度の自殺者数はどのようになっているのか。

**答** 40歳代～60歳代が6名。70歳代が1名。20歳未満が1名。

**問** 軽自動車税の公益減免台数は。

**答** 6団体、25件。

**問** 減免対象の課税保留処分台数は。

**答** 5件。

**問** 住居の差し押さえ件数は。

**答** 22件。

**問** 不動産売買収入とあるが、どのようなものなのか。

**答** 都市計画道路の残地を売却した。

## ◆ 歳 出 ◆

**問** 国際交流事業での消耗品費66万4200円の用途は。

**答** みよしまつり関係で国際交流記念ポロシャツ260枚、39万6551円やペタリングジャヤ市の方に着ていただいた浴衣小物一式8組、5万8644円などがある。



**問** みよしまつりの有料席代とは。

**答** ペタリングジャヤ市の方の席、300円×20席分を実行委員会へ支出した。



みよしまつりマレーシアの民族舞踊を披露

**問** 東武東上線改善対策協議会でのホームドア設置の要望はしているのか。

**答** 富士見市は要望している。町も行う。

**問** 生活サポート事業の増額要因は。

**答** 利用者と利用回数が増えている。

**問** 正規保育士は全員第二保育所から第三保育所へ異動したのか。

**答** みどり学園、児童館、

児童保育室への異動もある。



民間に移管した町立第二保育所

**問** 障がい者就労支援センターとの相談で精神障がいの人就職に繋がったのか。

**答** 繋がった人はたくさんいる。

**問** スズメバチ駆除費は予算には無かったが、発生場所はどこか。

**答** 北永井のさんくのと。



さんくのと







産業祭

**問** 産業祭の支出440万円が40万円増となっているが用途は。  
**答** テント組み立てなどの業者への委託費。

**問** 入間東部地区労働行政担当課事務連絡会の「マナー講習会」の内容は。  
**答** 12社参加で会社従業員の安全・健康の「健康セミナー」を実施した。

**問** アライグマの駆除はあったのか。  
**答** 3頭あった。



三芳スマートICのフル化に伴い広がった交差点

**問** 三芳スマートICの関係機関との協議資料は公開できるのか。  
**答** 5、6枚の協議資料は完成しているので公開できる。

**問** 道路台帳作成委託料が平成29年度よりも1000万円増の要因は。  
**答** 過去にわたる発注漏れを追加したため。

**問** 和歌山県で行われた東アジア農業遺産学会の参加者は。  
**答** 町長、秘書広報室長、観光産業課長と担当職員、実践農業者2名の計6名。

**問** 学校から施設修繕費や備品購入費などの要望が出されると思うが。  
**答** 要望はあるが、年200万円を限度としてお願いしている。

**問** 中学生自転車ヘルメット購入補助金の実績は。  
**答** 三芳中学校の18名、1万8000円を補助した。



**問** 既存住宅の耐震診断・耐震改修及び建替え費用助成の実績がなかったが、1件あたりの助成額は。  
**答** 耐震診断は最大5万円。改修・建替えは最大20万円。

**問** 収納だけではなく有効に活かされる場合は。  
**答** まず保存を第一に考えている。資料館の企画展等で利用するよう努めている。

**問** 文化財収納庫借上げ料とは。  
**答** 民間の倉庫を借上げ、資料館の収蔵庫に入らないものなどを収蔵している。



**問** 部活動ボランティア指導員謝礼が、予算額に比べ決算額が少なかった理由は。  
**答** 10名募集したが7名しか確保できなかった。





# お財布事情 報告第7号

## 平成30年度三芳町健全化判断比率

健全化判断比率	平成30年度	早期健全化基準
①実質赤字比率	—	13.64%
②連結実質赤字比率	—	18.64%
③実質公債費比率	10.4%	25.00%
④将来負担比率	112.8%	350.00%

(備考) 各比率が算定されない場合は、「—」の記載です。

### 実質赤字比率、連結実質赤字比率とは

町の一般会計の赤字額が、町が自由に使える収入額に対してどのくらいの割合かを示したものを実質赤字比率といい、さらに国民健康保険などの特別会計や、水道と下水道の公営事業会計といったすべての会計の数値を合わせたものを連結実質赤字比率といいます。

三芳町はどの会計も黒字のため、数値は実質赤字比率が-10.54%、連結実質赤字比率は-30.00%となりいずれも早期健全化基準には達していません。

平成30年度の町の財政の健全化判断比率の報告がありました。平成21年4月に全面施行された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、自治体は4つの財政指標を毎年度チェックし、どれか一つでも指標の基準（早期健全化基準・財政再生基準）に達すると自主的に財政健全化計画と財政再生計画を策定・実施して早期の財政再建を図ることが義務付けられています。この比率は町の監査委員の審査に付したうえで議会に報告されます。

### 主な質疑

**問** 昨年度に比べて将来負担比率の数値は下がったが、今後の5年間の方向性をどう捉えているか。

**答** 当分大型の借り入れがなければ将来負担比率は下がる見込み。

**問** 公債費は令和元年度がピークとの説明が以前あったが、今後の見通しは。

**答** 来年度以降も返済額は14億〜15億円になる。令和5年度くらいまでは実質公債費比率は10%〜11%で推移していくと思う。

**問** 県内の自治体と比べた時、三芳町の財政健全化指数の状況は。

**答** 実質公債費比率は県内市町村の平均が4.7%、将来負担比率は19.9%となっている。

**問** 町の将来負担比率は特に高いが、数値を下げることを意識して施策を行っているのか。

**答** 他自治体と町では標準財政規模や地方交付税など条件は異なっているが、町としては常に町債の現在高や返済額を気にして起債するようにしている。



# どうなる？三芳町の

## 実質公債費比率とは

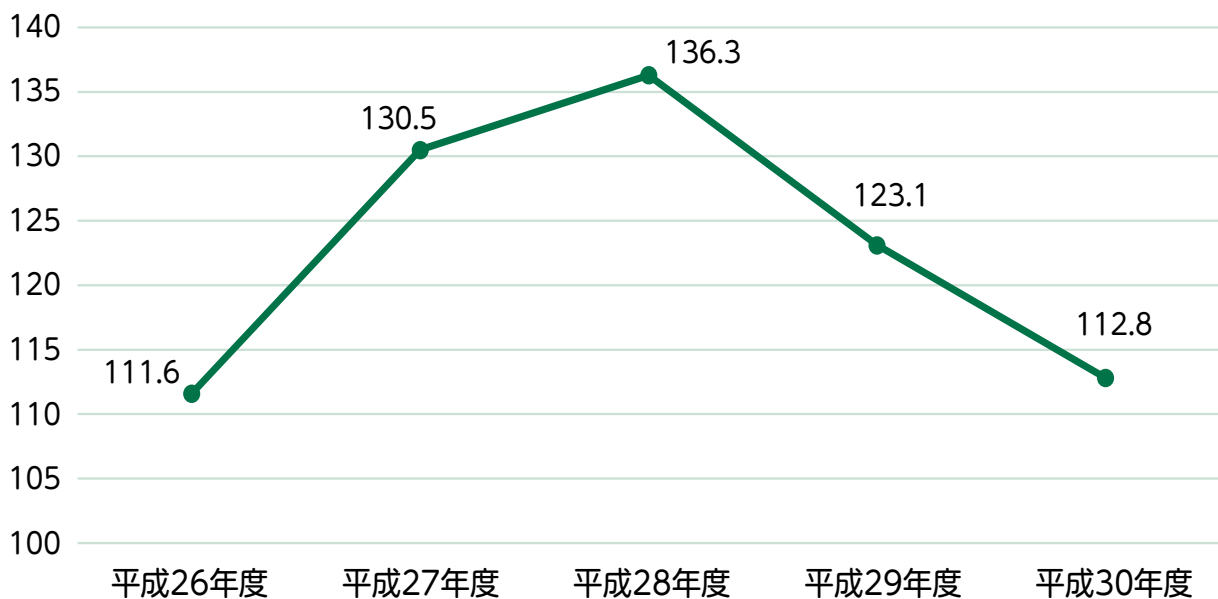
町の借金（地方債）の返済額（公債費）が財源（標準財政規模）に対してどのくらいの割合かを示す数値です。近3カ年の平均で表示されます。

	実質公債費比率	単年度実質公債費比率	元利償還金
平成 28 年度	8.7%	9.53%	13 億 5728 万円
平成 29 年度	9.7%	10.87%	14 億 8749 万円
平成 30 年度	10.4%	10.99%	15 億 6837 万円

なお、埼玉県内の市の平均値は4.7%、町村は7.0%（いずれも平成29年度数値）となり、三芳町の同年度の数値9.7%は県内市町村でワースト3位です。これは平成27年度に完成した環境センター（ゴミ処理場）と中央公民館・給食センターの建設費の返済が始まったことが大きな要因となっています。計算式の関係上、地方交付税不交付団体である三芳町は不利な数値が出てしまうのですが、それを差し引いても厳しい財政状況が表されています。

## 将来負担比率とは

借金や職員の退職金など、将来支払わなければならない負債が、1年間の収入や貯金（基金等）の見込みに対してどれくらいあるのかを判断する数値です。



平成29年度の埼玉県内の市の平均は17.8%、町村は44.3%です。三芳町の数値は好転してきているものの、残念ながら埼玉県内の市町村でワースト1位となっています。早期健全化基準（イエローカード）の350%にはまだ差がありますが、計画的に貯金（基金）を積み上げていく、安易に借金をしない（町債を発行しない）などの対策が必要とされているのが分かります。



平成30年度

## 特別会計 歳入歳出決算

**\*特別会計とは**

一般会計は町の様々な事業に対応した大きなお財布であるのに対し、特別会計は個別の事業の状況や資金運営を明確化するために個々に小さなお財布を設けたものです。

### 国民健康保険特別会計

歳入総額

41億2603万8901円

国から

8000円

県から

27億934万7553円

町の一般会計から

2億8000万円

歳出総額

39億9205万3148円

保険給付費

26億772万2954円

差引残額

1億3398万5753円

前年と比べ

▲5494万4967円

### 国民健康保険 加入者数

年度	加入者数(人)
28	1万 34
29	9,335
30	8,762

加入者が減っているのは、加入者が後期高齢者（75歳以上）に年々移行しているため。

### 反 討 対 論

## 日本共産党

所得の少ない人に高い国民健康保険税を負わせているという構造的問題であるのに、それを値上げという形で加入者に負担を転嫁するべきではない。収入の無い赤ちゃんにまで保険税が掛かる均等割も問題である。一般会計からの繰り入れと、多子世帯の均等割免除を求め反対とする。

### 特定健診の対象人数、受診者数、受診率 及び給付実績

年度	対象人数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	給付額
28	7819	3142	40.18	3199万6530円
29	7312	2934	40.13	2885万8910円
30	6908	2849	41.24	2828万2780円

### 介護保険特別会計

歳入総額

24億7286万6749円

国から

4億2142万8102円

県から

3億2411万8650円

町の一般会計から

3億2672万8805円

歳出総額

23億1563万5816円

保険給付費

20億3494万1302円



### 反 討 対 論

## 日本共産党

町は、65歳以上の方の介護保険料を、月4000円から月4700円に値上げた。住民負担にすべきではない。国負担割合は17.04%と低い。早急に30%へと引き上げるべき。特別養護老人ホームの待機者は47名。ふじみ野市・富士見市・三芳町で協議して、公的責任で施設を造るべきだ。

(利用した介護サービスについて事業者を支払われる費用)

差引残額

1億5723万933円

超高齢化社会を迎えることから、介護予防の推進による介護給付費の抑制など、健全運営の努力が望まれる。

### 後期高齢者医療特別会計

歳入総額

4億7336万4929円

特別徴収保険料

(年金からの天引き)

2億1123万1450円

普通徴収保険料

(納付書・口座振替で払い込み)

1億7831万7830円

歳出総額

4億6886万9983円

差引残額

449万4946円



## 下水道事業特別会計

## 水道事業会計

## 補正予算

歳入総額

7億7312万2011円

歳出総額

7億7262万4538円

差引残額

49万7473円

この残額は、下水道事業について地方公営企業法が適用されたことに伴い、同法の規定による特別会計へ引き継いだ。

給水にかかる会計

収益的収入

8億8440万4731円

営業収益

8億1600万648円

収益的支出

8億697万2575円

営業費用

7億5999万3134円

水道管や設備などの資産管理にかかわる会計

資本的収入

1億4195万8868円

企業債(借金)

1億3370万円

資本的支出

2億8369万4431円

建設改良費

1億6793万6178円

中央監視設備更新工事

その他水道管敷設工事など

企業債償還金(借金返済)

1億1575万8253円

議案第55号

一般会計補正予算(第4号)

2億8709万6000円を追加し、予算総額127億5782万4000円とする。

主なもの

・上富小学校トイレ改修工事設計業務委託料

155万7000円

予定よりも工事を早めることになった。



上富小学校のトイレが改修されます

・主食費調整事業

154万8000円

・民間保育所等の3〜5歳児に一人当たり1000円を補助

・廃棄物対策事業

粗大ゴミ処理手数料を納

付する券を作成

41万8000円

・残土処分業務委託料

972万9000円

・道路清掃等で発生した残土を処分

道路改良工事

8600万円

①町道幹線5号線道路改良工事

50m 歩道がつながる

②町道北永井9号線地盤改良工事

32m 陥没部分の地盤改良

その他3件

歩道がつながります

・国庫補助金

3593万7000円

・幼児教育無償化に伴う実

費用

1829万7000円

・県補助金

1829万7000円

・個人番号カード利用環境整備費

277万2000円

議案第52号

介護保険特別会計補正

予算

1億6357万円を追加し、予算総額を27億6094万円とするもの。

議案第53号

下水道事業会計補正

算

収益的支出の予定額を318万6000円減額し、7億5303万9000円とするもの。

資本的支出の予定額を16万7000円追加し、2億8372万9000円とするもの。

主に人事異動等に伴う人件費の増減によるもの。

議案第54号

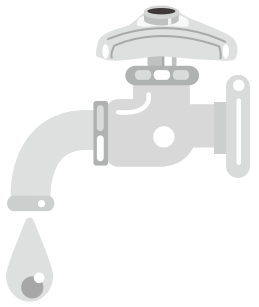
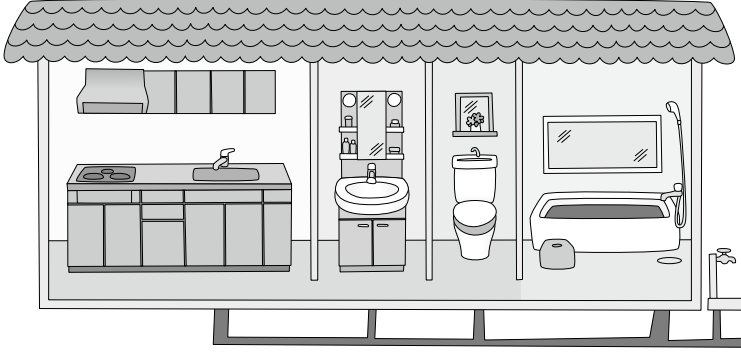
下水道事業会計補正

予算

収益的支出の予定額を269万5000円追加し、8億3698万1000円とするもの。

資本的支出の予定額を46万1000円追加し、3億5476万9000円とするもの。

主に人事異動等に伴う人件費の増によるもの。





反  
討  
対  
論

日本共産党

本条例により非正規職員の処遇改善に繋がる点は評価するが、非正規職員に対して法的根拠を与え、非正規化を進めることに繋がりにかぬない。同一労働同一賃金が求められるが、フルタイム職員であっても正規職員との差が大きく、フルタイムとパート間の格差も問題であり反対する。

- 会計年度任用職員へ移行する特別職  
非常勤嘱託員、嘱託保健師、嘱託助産師、嘱託看護師、嘱託管理栄養士  
内職相談員、消費生活相談員、教育相談員、社会教育相談員
- 町との契約等に移行する特別職  
行政連絡区正副区長、住民相談員、交通指導員

「高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書」

東京・池袋で高齢者が運転する車が暴走し、母子2人が亡くなった事故以降も高齢運転者による事故が続いている。

一方、地方では「生活の足」として車が欠かせない高齢者も多い。そこで、総合的な事故防止策として、高齢運転者の安全運転支援と地域における移動手段の確保を求める。

提出先 国関係機関

意見書

同意しました

同意第7号

任期満了に伴う委員の任命について、議会に同意を求められたので、適任と認め同意しました。

三芳町教育委員会委員 池上善一氏

柔軟仕上げ剤など家庭用品に含まれる香料の成分表示等を求める意見書について

家庭で使用する柔軟仕上げ剤や消臭剤等に含まれる香料の化学物質によって、頭痛、吐き気などの化学物質過敏症を発症する人が増え続けています。しかしこれら健康被害がまだ社会的に充分認知されていないと言えませんが、因果関係の調査・研究と実態把握の調査を求めます。

提出先 国関係機関



お詫びと訂正

議会だより第173号において左記のとおり誤りがございましたので、訂正させていただきます。訂正させていただきますことにご迷惑をおかけした読者の皆様ならびに関係各位に深くお詫び申し上げます。

訂正箇所

16ページ及び17ページの議員賛否表中

議員名

誤) 細谷 三男

正) 細谷 光弘

同意「三芳町監査委員の選任同意について」の山

口正史議員の賛否

誤) ○

正) 除斥

第3回臨時会(16ページ)の審議結果中の菊地浩二議員の全ての賛否

誤) ○

正) 早退

表紙写真のご紹介

10月12日から13日にかけて東日本に上陸した台風19号は河川の氾濫による浸水や土砂崩れなど甚大な被害を残していきました。三芳町内でも倒木4件、道路冠水10件、床下浸水10軒、停電300件、車両水没4台などの被害が確認されています(10月15日現在)。

また、総合グラウンドにも大量の水が溜まり、14日に延期されていた町民体育祭は中止となりました。

今年度は一般下水道全体計画が策定されますが、計画に基づいた早急な整備が求められるとともに、日頃の雨水枡や道路の定期的な清掃の重要性が再確認されました。

写真は幹線19号線と竹間沢東地区の町道の被害状況です。



# 議員の賛否公開します



◀ 詳細については議会ウェブサイトをご覧ください。

○賛成 ×反対

令和元年第5回定例会 審議結果	議員名	三芳みらい					日本共産党			公明党		輝				
		井田和宏	細田三恵	林善美	細合光弘	山口正史	吉村美津子	増田慶美	本名洋	小松伸介	桃園典子	内藤美佐子	久保健二	鈴木淳	菊地浩二	落合信夫
<b>■報告</b>																
平成30年度三芳町一般会計継続費精算報告書について		報告のみ														
平成30年度三芳町下水道事業特別会計継続費精算報告書について		報告のみ														
平成30年度三芳町健全化判断比率の報告について		報告のみ														
平成30年度三芳町下水道事業特別会計資金不足比率の報告について		報告のみ														
平成30年度三芳町水道事業会計資金不足比率の報告について		報告のみ														
専決処分事項の報告について(令和元年度三芳町一般会計補正予算(第3号))		報告のみ														
<b>■条例</b>																
三芳町議会基本条例の一部を改正する条例	原案可決	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
三芳町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
会計年度任用職員の報酬等に関する条例	原案可決	議長	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
<b>■補正予算等</b>																
三芳町道路線の廃止について	原案可決	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
三芳町道路線の認定について		撤回														
三芳町道路線の認定について	原案可決	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
三芳町教育委員会委員の任命同意について	原案同意	議長	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度三芳町介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度三芳町下水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度三芳町水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度三芳町一般会計補正予算(第4号)	原案可決	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>■決算認定</b>																
平成30年度三芳町一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定	議長	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度三芳町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	議長	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度三芳町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	議長	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度三芳町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	議長	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度三芳町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度三芳町水道事業会計決算認定について	原案認定	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>■陳情・要望</b>																
日本政府に対して、国連の「沖縄県民は先住民族」勧告の撤回を求める意見書の採択を求める陳情書		配布のみ														
米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進する意見書に関する陳情		配布のみ														
東海第二原発の再稼働に反対し廃炉を求める要請		配布のみ														
核も戦争もない平和な二十一世紀を求める要望書		配布のみ														
1. 天皇陛下の御即位をことほぎ、御健勝を祈り奉るため、即位礼正殿の儀の前後について、市役所・町役場などの公共施設等において奉祝記帳所の設置を要請します。 2. 各市町村議会において、賀詞奉呈の決議の採択を要請します。		配布のみ														
<b>■意見書</b>																
高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書について	原案可決	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
プラスチックごみ削減対策の強化を求める意見書について	否決	議長	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×
柔軟仕上げ剤など家庭用品に含まれる香料の成分表示等を求める意見書について	原案可決	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○





## 高齢ドライバーの交通安全対策

公明党  
内藤美佐子  
ないとう み さ こ



**問** 本町の75歳以上運転免許保持者の人数は。

**答** 平成30年12月末時点で1593名だ。

**問** ペダル踏み間違い事故対策として、後付けできる「ペダル踏み間違い時加速抑制装置」設置に助成は。

**答** 国や県で補助制度が創設されたら、本町でもぜひ活用したく研究を進める。

**問** 安全運転に対する職員の意識向上に、全公用車にドライブレコーダー設置は。

**答** 全公用車のリース化推進で、リース時の仕様により設置を進めている。

**問** 消防車両へのドライブレコーダー設置は。

**答** 分団車両への設置も計画的に予算計上を進める。

### 防災士の育成と活用

**問** 町内在住の防災士の資格取得者人数は。

**答** 令和元年7月末で21名。

**問** 地域防災アドバイザーに委嘱し活躍の場の提供は。

**答** 先ずはネットワークを作り、防災訓練等にご協力いただくようにしたい。

**問** 資格取得にかかる費用への助成制度を創設しては。

**答** 消防団の分団長以上の経験者には資格要件が免除されるので取得支援したい。また自主防災組織の補助金要綱を変更し助成も考える。

### 読書環境の整備を

**問** 障がい者が読書しやすい環境整備のための「読書バリアフリー法」が成立施行された。町の対応は。

**答** 図書館は福祉課と連携し、実情やニーズに合わせ総合的に取り組んでいく。

### 学校給食費の公会計化

**問** 保護者への周知は。

**答** 今後申込書と口座振替依頼書を配布する。

### その他の質問

①学校給食費の支払いにコンビニ払いやカード決済を可能にしては



## 公用車へドライブレコーダー設置

三芳みらい  
細田三恵  
ほそ だ みつ え



**問** 町内の70歳以上の免許返納者数は。

**答** 平成30年度は141名。

**問** 高齢者が犠牲になる交通事故防止対策は。

**答** 免許証自主返納制度が大きな対策。又、交通安全母の会と高齢者に向けて啓発活動を年9回行っている。

**問** アクセル踏み間違い防止機器に補助金導入しては。

**答** 県においても補助金制度が研究されている。ぜひ国や県の補助金を活用して折り合いをつけたい。

### 公用車等の管理方法について

**問** 町の公用車の台数は。

**答** 50台。

**問** 公用車へドライブレコーダー設置の考えは。

**答** リース車両18台は設置済。その他も順次設置する。

**問** 犯罪防止の為にドライブレコーダー設置車両にステッカーを貼って町民に周知しては。

**答** 犯罪抑止効果に繋がるか今後検討していく。

### 教科書の採択について

**問** 採択協議会の構成は。

**答** 令和元年度に採択地区を分割し三芳町、富士見市、ふじみ野市で第10採択協議会を設置し教育長及び全ての教育委員による計15名。

**問** 採択協議会の委員に保護者や学識経験者を含める事は当町で検討はあったか。

**答** 第一回第10採択協議会にて協議した。

**問** 教科書展示会の来場者の教員と一般の内訳は。

**答** 教員694名、一般60名。

**問** 歴史教科書から坂本龍馬等の歴史的な偉人を消す案が出ているというがどう考えるか。

**答** 今後教科書会社から発行される歴史教科書で扱う歴史的偉人等にも確認して検討していく。



ドライブレコーダーステッカーの例



# 水泳指導の外部委託について

三芳みらい  
林 善美  
はやし よし み



**問** 小学校水泳指導が外部委託となった経緯は。

**答** 藤久保地域の整備計画の中で、学校のプールを建設せずに民間プール施設の活用が可能かどうかを判断するため、試行的に本事業を実施した。

**問** 指導状況は。

**答** 天候に左右されず予定通りの授業時間が確保された。また、児童のレベルに応じた指導ができた。バスでの移動は前後の休み時間を利用したため、他の授業への影響はなかった。

**問** 実施後の感想は。

**答** 児童の85%が上手に泳げるようになったと回答した。

**問** 令和2年度以降の対応は。

**答** 令和元年度の課題を踏まえ試行を検討する。

## 防犯灯について

**問** 防犯灯LED化の進捗状況は。

**答** 平成31年3月現在、3124灯すべてLED化された。設置工事費や修繕費の平準化を図るため10年間の賃貸借契約を締結している。

**問** 蛍光灯からLEDへ変更後の光熱費の差額は。

**答** 年間415万円の削減(約43%減)となった。

**問** 防犯灯の設置を希望する場合、申請方法は。

**答** 周辺住民の総意で、行政区長を通して申請する。

## 工事検査室の設置について

**問** 130万円を超える公共工事の件数は。

**答** 平成30年度は61件。

**問** 工事検査室設置の必要性は。

**答** 工事検査グループに担当課を含めて17名の検査員を配置している。十分な機能を果たしているため、検査室の設置は考えていない。



LED化された防犯灯



# 学びと心の支援の充実を!

公明党  
桃園典子  
もも ぞの のり こ



**問** 適応指導教室への通室児童生徒の人数の推移は。

**答** 小中学生合計で平成28年度は7名、平成29年度は10名、平成30年度は17名。

**問** 適応指導教室と教育相談室が同室内に配置されているが広さや環境についてどう考えるか。

**答** メリットとデメリット両面があると考ええる。今後は通室児童生徒への配慮を研究していきたい。

**問** 児童生徒の心身の状態に配慮して個室の配置や、教育相談の充実のため、相談室の広さや場所の改善は。

**答** カウンセリングのための個室は重要と考えるが、スペースに限りがあるので配慮しながら、今後、より良い環境作りを研究したい。

## 学習支援を更に充実へ

**問** 第2期三芳町教育振興基本計画の「個」に応じたきめ細やかな指導とは。

**答** 理解に応じて少人数指導、習熟度別指導、補充的指導など支援に応じた職員を配置し細やかに指導している。

**問** 教員OB等で教育支援人材バンクを構築しては。

**答** 教員退職者に再任用等で関わって頂いているがバンク構築は今後研究する。

**問** 教員OB等で長期休業時や放課後の学習支援は。

**答** 小学生対象のサマーチャレンジスクールは淑徳大学生が対応。放課後や長期休業時は今後研究していく。

**問** 教員OB等で一人親家庭や外国籍の生徒への学習支援は。

**答** 今後研究していく。

## 行政サービスについて

**問** 道路の修繕に関する通報サービスの利用件数は。

**答** 一年半で5件。

**問** もっと利用しやすいように改善できないか。

**答** 工夫して改善したい。



このページをご存知ですか?





## 変わる！学校給食費会計

輝 菊地 浩二  
まきくち こうじ



学校給食費が令和2年度より町の会計に組み込まれることになった。これまで不透明な部分も多かったが、大幅な改善となる。公会計化にあわせて給食の今後の取組みをうかがう。

**問** 保護者に給食の申込書を提出していただくようになるが、申込書はどのような内容になるか。

**答** これから協議していく。

**問** 申込書を提出しない場合はどのように対応するか。

**答** 給食を食べるのであれば提出をお願いしていく。

**問** 現在の会計で平成30年度の剰余金は約170万円ある。令和元年度の剰余金はどのように取り扱うか。

**答** 一般会計の雑入で考えているが、財務課と協議していきたい。

**問** 教育委員会では公会計になると給食費の未納が増えると懸念された。実際は三芳町では未納はかなり少ない。教育委員会の見解は。

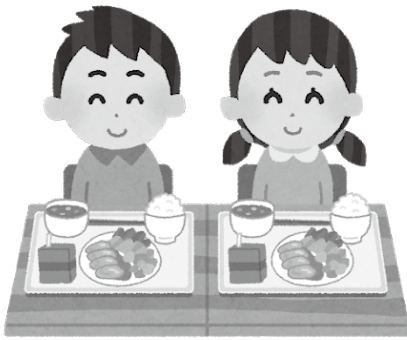
**答** 公会計になっても未納が増えないようにしたい。

**問** 未納者を福祉に繋げていくために情報の共有は出来るか。

**答** 個人情報の問題があるが、可能な限り学校と関連部署と連絡を取り福祉に繋げていきたい。

**問** 学校給食では町のアレルギー対応方針が決まっているが、対応食の提供は始まらない。財政状況が理由としているが、理由はそれだけか。

**答** 財政状況だけでなく、総合的に判断している。現在様々な教育課題があり、今後も協議していく必要があると考えている。またアレルギー対応では児童生徒の安全を最優先しながら様々な取組みをしている。対象者の保護者との個別面談で安全に配慮した現在のアレルギー対応は理解していただいている。



## 藤久保地域拠点施設 複合化計画について

三芳みらい  
山口 正史  
やまぐち まさふみ



今回は藤久保地域拠点施設の複合化について主に議会の全員協議会に提出された「藤久保地域拠点施設基本計画策定について」に基づいて質問を行う。

**問** 複合化により他施設で実施されている事業・取組みと連携しやすくなると思うが、連携が出来る事業数は。

**答** 具体的な検討は行っていない。今後の基本計画策定で検討する。

**問** 機械室やトイレなどが共用でき、総延床面積・建設費の削減が可能になるとあるが、削減の目標値は。

**答** 現段階では算出はしていない。今後の基本計画策定で検討する。

**問** 複合化によるデメリットはないのか。

**答** 無いと考える。

**問** 複合化した場合、次の建替えは考慮しているか。

**答** 将来の社会情勢の想定は出来ないと考えている。今後議論はするが施設の長期利用を検討する。

**問** 本計画の総事業費ほどの程度か。

**答** 60億円の試算をしている。

**問** 資料では民間施設を複合施設に入れることにより地域の活性化と財政負担の軽減を目指しているが、計画に参画する民間企業がなかった場合には単独でも事業を進めるのか。

**答** 現時点では民間企業が参画しないとは考えていない。

**問** 資料では既存施設の面積が不足していると分析しているが、複合化により面積不足は解消されるのか。

**答** 総延床面積は縮小するが、個々の施設では広く感じられる設計を目指している。

**問** 複合化の対象となるのは既存施設だけか。

**答** 今後の基本計画・実施計画で検討したい。





## 当町将来設計、事業計画の検証!

輝 久保 健二  
く ぼ けん じ



**問** 平成13年3月に策定されたスタートした都市計画マスタープランが今年で20年目の最終年度となるが地域別の整備の達成度は。

**答** 計画施設では中央公民館の建替え、体育館、火葬場、斎場施設は達成した。

**問** 都市計画マスタープランの全体構想の中に20年前には各地域から要望の多かった町民プール建設の計画があったがどうなったのか。

**答** 平成元年に作成された三芳町総合振興計画第2次基本構想一の中では町民プールの計画があったが、その後の計画でなくなっている。

**問** 「町民の声」の項目では、三芳町全体の都市計画の課題及び将来像について8つの要望が挙げられており、これらを優先して進めます、とある。この20年間で町民からの声、要望を、どの程度叶えることが出来たのか。

**答** バス路線などの交通手段整備についてはバス路線の見直しや、本数の増便、道路関係では生活道路、交通安全、主要道路の整備が挙げられており、道路の維

持修繕工事や注意喚起看板等の設置、また今後の安全対策や道路整備のための交通量調査を実施した。

**問** 公園・緑地の整備に関してはどうだったのか。

**答** 区画整理事業により新たな公園5箇所整備し、1箇所は現在整備を実施中。

**問** 藤久保地域以外の地域への公園の新設の計画は。

**答** 今のところ計画はない。

**問** 8つの要望の中には高齢者の憩いの施設として娯楽施設の計画もあったようだが、どのような施設を計画していたのか。

**答** 町が設置する娯楽施設というのは基本的にはない。20年前に要望があり計画にはあったが整備はしていない。



20年前の都市計画に沿って建設された中央公民館



## 入間東部福社会の存在意義は

輝 木 淳  
すず き じゅん



**問** 毎年町から多額の補助金が投じられている入間東部福社会の設立経緯は。

**答** 当時の2市2町の公設公営施設であった福祉作業所を、県や厚生省と相談し、平成元年に2市2町が出資する社会福祉法人化した。

**問** 公的な色合いの強い法人だが、その存在意義は。

**答** 現在の行政課題である「家庭環境により生活の場の確保が必要な方や障害の程度により民間施設では対応困難とされる障がい者の日中支援を行う」法人としての存在意義がある。

**問** 町の負担でこれから建設が始まる太陽の家に入浴介護施設は設置できるのか。

**答** 基本設計では機械浴、シャワー浴のスペースを確保するようにした。

**問** 太陽の家通所者以外でも介護のための入浴施設利用を可能とする考えは。

**答** 基本的には施設を利用される方のスペースだが今後検討していく。

### 川越街道の課題解決

**問** 川越街道の樹木や植栽の管理方法は。

**答** 埼玉県の管理となっているので、低木は毎年7月と10月、高木は必要な都度に業務委託をしている。

**問** 特に令和元年度は植栽の手入れの時期が遅かったが、理由は把握しているか。

**答** 川越街道も三芳町分だけでなく他の自治体分もあるためではないかと思う。

**問** 歩道の植樹帯が多すぎて逆に危険になつてないか。

**答** 景観の面でも必要と考えるが、危険な箇所は縮小や撤去が可能か確認する。

**問** 川越街道の将来像は。

**答** 川越街道は江戸時代からの歴史もある。歩道の確保といった問題もあるので安全面を重視しての整備が必要。新しい都市計画マスタープランでも検討する。



建て直しの決定した現太陽の家





# 住みたくなるような魅力の創出を

公明党  
小松伸介  
こまつしんすけ



**問** 大きな公園整備に関し、特色ある遊具や大型アスレチック、健康遊具を充実させる或いは気軽に利用可能な広場を整備する等、魅力ある公園づくりが必要では。

**答** (仮称) 令和の森公園整備の中で、提案のような誰もが遊びに行きたくなる公園整備を検討していく。

**問** ドッグラン設置は。

**答** 課題を解決しなければならぬ部分もあるが、設置の方向で検討する。

**問** バスケットゴール設置に対する考えは。

**答** この点も含め検討する。

## 教育行政について

**問** 小中学校の置き勉について各校の取組み状況は。

**答** 全ての小中学校において、保護者会等を通じて学校に置いて良い物等について通知し、家庭学習で必要のない教材等は教室等で保管するよう配慮している。

**問** 学校や学年、教科により取組み姿勢に差はないか。

**答** 家庭学習に必要となる事も考えられるため、学校や学年に違いはある。保護者と連携を図っていきたい。

**問** 教育長の見解は。

**答** 置き勉可能な物の一覧

表を教室に掲示している所もある。学校に指導したい。

**問** 運動会・体育祭時、児童生徒が自席で待機中の暑さ対策として、寄贈を募る等し、テントを整備しては。

**答** ご理解頂ける企業も多いと思うので、検討したい。

## 記念事業について

**問** 令和2年に町制施行50周年を迎える。記念事業として、魅力あるご当地ナンバープレートの作成は。

**答** 事業決定後、令和2年度交付に向け準備を進める。

**問** 桜の記念植樹の実施は。

**答** 大変良い事業と考える。今後事業を検討する中で、参考事例の一つとしたい。



中学校・国語における教科書等の量



中学校・社会(地理のみ)における教科書等の量



# 野積み等の規制について

三芳みらい  
細谷光弘  
ほそやみつひろ



**問** 現在、町で把握している家電・産廃・その他を野積みしている業者は、何社ぐらいあるのか。

**答** 現在町で把握している数はその他ということで4社ある。

**問** 業者に対して、町としてどの様な許可・指導・検査等をしているのか。

**答** 4社の内2社がリサイクル業者、2社が土砂の堆積業者となっている。土砂の堆積業者の許可は埼玉県、指導検査等は県の職員と周期的に行っている。

**問** それらの保管に対して基準があると思うが、町がチェックしているのか。

**答** 県と合同で半年に1回ずつ行っている。

**問** 役場から見える鉄くず・金属の山に対して、現在町としてどの様な規制や指導をしているのか。

**答** 県と合同で定期的にパトロールをしている。町としてはリサイクル業者と認識している。有価物を扱うリサイクル業者自体を規制する法律は現在ない。

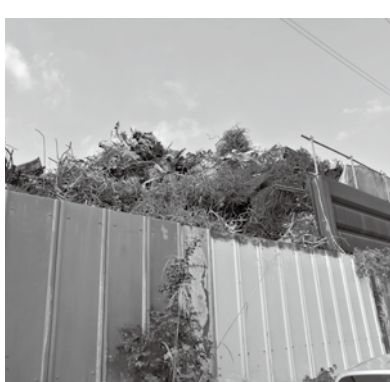
**問** 全国的に、廃棄物処理法の適用対象か判断が難しい家電製品・鉄くず等に対して長野県飯田市の様に町

の環境保全条例を改正する市町村が増えていますが、町長としてはどの様な対策を考えているのか。

**答** 庁舎北側の場所は、外観上懸念をしている。法的には問題ないという事だが、三芳町のイメージ的には好ましいものではないのでしっかりと指導しながらも、他市の先進的な条例等も参考にして研究していきたい。

## その他の質問

- ① 三芳町の将来人口ビジョンと人口減対策
- ② 町の町債(借金)の総額と返済計画
- ③ 財政力指数や財政調整基金
- ④ 災害対策基金
- ⑤ ふるさと納税
- ⑥ みどり共生産業ゾーン企業誘致等について





## 子どもも大人も住みやすい町に

日本共産党  
増田 磨美  
ます だ ます み



### 新民間保育園の状況は

**問** 令和元年4月より町立第二保育所が民間の園に変わった。民間となり4か月が過ぎたが新園の状況は。  
**答** 円滑に運営されている。

**問** 保育士は適正人数が各クラスに配置されているか。  
**答** 募集要項の基準に沿っている事を確認している。  
**問** 苦情による転園希望は。  
**答** 転園希望はない。

### 保育の無償化について

**問** 保育の無償化に特化して質問。今まで保育料に含まれていた副食費は保護者より実費徴収していくのか。  
**答** 保護者より各園が4500円を実費徴収する。

**問** 2019年4月から主食費補助で保護者負担を軽減している。喜ばれている施策、今後も続けるか。  
**答** 引き続き補助を実施したいと考えている。

### 藤久保小学校の水泳授業民間委託について

**問** 町内の他小学校との整合性をどう考えるか。

**答** 藤久保地域拠点の複合施設のための試行だった。成果と課題から他の小学校との整合性も考えていく。

**問** 一般利用者に影響があったと聞いているが今後どのように考えていくのか。  
**答** 一般の利用者に影響があったことは聞いている。今後は円滑に進めていけるように事業者としっかり協議を進めていきたい。

### 藤久保地域拠点施設基本計画について

**問** 郵政宿舍跡地利用について町の考えは。  
**答** 注目している。日本郵便でもリリースを考えていると聞いた。小中一貫校も考えたが推計で更に40億円増となる。制度変更の準備等諸条件を考えると難しい。



藤久保地域拠点施設基本計画に含まれる施設



## 安全・安心対策を講じるべきでは

日本共産党  
吉村美津子  
よしむら みつこ



**問** 三芳東中学校南側の町道幹線21号線は、歩道整備がほとんどされていない。整備されるまでグリーンベルトでの対応をすべきでは。  
**答** 出来る所から対応する。

**問** 三芳東中学校東側に畑があるが、一部係争中とのこと。地権者と話し合いの回数を増やして、歩道整備への協力要請をすべきでは。  
**答** 努力する。

**問** 県道三芳・富士見線と町道上富192号線の交差点は、見通しが悪い。安全対策は。  
**答** 東入間警察署と相談をする。

### 地権者・事業者不明の建物

**問** 上富地域に地権者・事業者不明の建物・残土があり倒壊が心配。安全対策は。  
**答** 引き続き所有者と連絡が取れるよう努める。

### (仮称)三芳バザール賑わい公園基本構想

**問** (仮称)三芳バザール賑わい公園基本構想(案)

に対するパブリックコメントには、意見13件が提出された。意見には、①基本構想(案)計画化並びに実施には反対。町自身が財政健全化を唱える現状においてあえて箱モノづくりにより進めなければならない。②高齢化社会の現在および将来について車で利用するような施設は合わない。③特別養護老人ホームなどの福祉施設をつくった方がみんなに喜ばれる。④人口が減少している訳だから、最初の数年は目新しさで人が訪れてもどんどん利用客が減っていくだろう。など反対意見が多かったが、この事業を執行するか否かの判断はいつ頃行うのか。

**答** 三芳スマートICフル化後、地元の意向も考慮し採算性も踏まえて判断していく。



地権者・事業者不明の建物と残土





日本共産党  
本名 洋  
ほん な ひろし

## 性の多様性を認めあえる町に



**問** これまでLGBTの方からの相談はあったか。

**答** 1件あった。

**問** 相談件数が少ない理由をどう考えるか。

**答** 相談するということはカミングアウトすることにもなる。相談者にとつてハードルが高いと考える。

**問** LGBTなど性の多様性を認めあえる町にするにはどのように取り組むのか。

**答** まず住民の理解が必要。性的マイノリティへの精神的フォロー体制の充実、物理的環境整備が必要である。

### 自然エネルギーの普及に向けて

**問** 担当課の認識は。

**答** 化石燃料は気候変動や環境への悪影響を及ぼすため重要なテーマと認識している。

**問** 各地で森林を開発してのメガソーラー設置が問題となっているが、本町でも設置は可能か。

**答** 可能である。

**問** 太陽光発電の推進と同時に規制する条例も必要では。

**答** 今は考えていない。

### ライフバスの路線再編について

**問** 時期は予定通り11月か。

**答** 令和2年3月に延長を考えているがゴールデンウィークの可能性もある。

**問** 7番線がふじみ野駅に行かなくなる。影響を受ける地域住民への説明は。

**答** 説明会を開き、丁寧な対応に努める。

### 香りの害・化学物質過敏症への対応について

**問** 被害実態の把握は。

**答** 把握していない。

**問** 県もポスターを作成している。周知・啓発が必要では。

**答** 関係課と協議、検討していきたい。



県作成の「香りのエチケット」啓発ポスター

## 議 会 活 動 日 誌

### 8月

- 1日 総務常任委員会
- 5日 議会運営委員会
- 6日 厚生文教常任委員会
- 8日 全員協議会
- 19日 議会広報広聴常委員会
- 22日 全員協議会
- 23日 議会運営委員会  
総務常任委員会
- 30日～9月24日  
令和元年第5回三芳町議会定例会
- 30日 議会広報広聴常委員会

### 9月

- 10日 全員協議会  
総務常任委員会
- 17日 議会広報広聴常委員会
- 19日 厚生文教常任委員会
- 20日 議会運営委員会

- 26日 東京都瑞穂町議会  
交通対策特別委員会視察来庁
- 27日 入間東部地区事務組合議会定例会

### 10月

- 1日 議会広報広聴常委員会
- 3日 埼玉県上里町議会  
議会運営委員会・議会活性化特別委員会  
視察来庁
- 7日 総務常任委員会
- 8日 岩手県矢巾町議会総務常任委員会視察来庁
- 10日 議会広報広聴常委員会
- 16日 愛知県東浦町議会文教厚生委員会視察来庁
- 17日 埼玉県町村議会議員研修会
- 25日・26日  
ふれあい座談会（議会報告会）
- 28日 茨城県潮来市議会議会運営委員会視察来庁
- 29日 鳥取県町村議会議長会視察来庁
- 30日 入間郡町村議会議員研修会及び表彰式
- 31日 埼玉県皆野町議会  
議会運営委員会・広報常任委員会視察来庁

# 傍聴席から

9月定例会を傍聴された方から  
ご意見・ご感想をいただきました。



一般質問への答弁を各担当課長がしっかりされていて、特に自治安心課・教育長・図書館長等、女性が担当され、大変活躍されていて心強く思いました。

交通安全、教育等、女性の視点できめ細かい対応がされていると感じました。

\*\*\*\*\*

市・町の違いはあると思いますが、近隣の取組みで子ども達のためになることは、進めてほしいと思います。

子ども達が安心安全に成長できる町であることが町の発展につながっていくと思います。

道路修繕通報サービスがあることは知りませんでした。ホームページがあちこちを開いてたどっていくのは、大変不便です。アプリでもっと使いやすくしてほしい！  
お願いします！

\*\*\*\*\*

私が質問したい事を議員が質問されたのでよかった。

\*\*\*\*\*

議員間で質問が重複しないようにして、質問を限定して深掘りした具体的な回答をするように改善できないか。

町の回答も具体的に、ていねいに答えてほしい。

\*\*\*\*\*

藤久保地域拠点施設基本計画については、慎重に研究してほしい。

\*\*\*\*\*

三芳町の特徴ある施設をいかに。(図書館・公民館等)

基本計画に保育所がない。入れるべき、ニーズ調査を参考に。

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

町内について会議をしているので住民の方々の傍聴参加を希望します。

\*\*\*\*\*

傍聴者が多ければ各議員の活気にもつながると思います。私達の生活に関わる議会にみんながもっと関心を持って欲しいと思いました。

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

小学生の置き勉については、常々気になっていました。

終業、始業式など持ち物が多く、両手がふさがっていて、学校までの長い距離を歩く姿がとてもかわいそうに思っています。担任の先生方に注意して頂き、持ち物が少なくなる様にして頂きたいと思っています。

又、環境保全についてももう少し立ち入って緑を守る、環境を守り意識をもって頂きたいと思えます。

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

始めて傍聴させて頂きました。かなり細かい事項の質問が見られ、少し気になりましたが、丁寧な返答のやりとりをしているなあと感じました。

\*\*\*\*\*

質問のつつ込みの甘さを感じます。質問者の学習レベルに大きな違いを感じました。

\*\*\*\*\*

いを感じました。質問者の一層の勉強を期待します。

\*\*\*\*\*

町内に大きな公園ができて、町民が安心して憩える場ができるとよいと思います。

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

不登校児童・生徒に対する支援として教育相談室の充実が大切と感じた。(教育センターが別にあると良い)

\*\*\*\*\*

道路や公園遊具等の修繕通報サービスはもっとわかりやすく住民に周知してほしい。

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

他にもたくさんのご意見をいただきましたが、一部を紹介しました。

9月定例会の傍聴者数

	日程	人数
本会議	8月30日 議案審議	2
	9月2日 一般質問	31
	9月3日 一般質問	34
	9月5日 一般質問	35
	9月10日 一般質問	8
	9月24日 議案審議	1
委員会	9月10日 (全協)	1
	9月12日 (決算)	1
	9月19日 (厚生)	1
	9月20日 (議連)	1

※傍聴が無かった委員会は掲載していません。



# 委員会活動報告

## 厚生文教常任委員会

厚生文教常任委員会は、閉会中の審査として7月8日に本町の特別支援教育の状況について、竹間沢小学校と三芳東中学校を訪問調査しました。

竹間沢小学校に設置されている通級指導教室では情緒障害に対する通級を実施しており、町内の各小学校より7名の児童が週に2時間ずつ教員と1対1にて授業を受けています。

委員会として、「竹間沢小学校区以外の児童が、保護者等の送迎が必要であることから、通級指導教室に通えないのであればそれは問題です。必要な児童が町内どこに住んでいても支援が受けられるような環境整備が必要」との意見をまとめ報告しました。

次に、三芳東中学校に本年4月より設置された特別支援教室では、知的クラスに1名、自閉・情緒クラスに1名が在籍し、丁寧な授業がなされていることを確認しました。

委員会として「特別支援学級が各小中学校に設置が進んでいることは評価しますが、藤久保中学校に特別支援学級がまだ設置されていないことで、藤久保小学校の特別支援学級に通っている児童が、学校区の中学



校に通えないことは問題です。今後早急な環境整備が必要と考えます」との意見をまとめ報告しました。

今回の調査を通し、本町においてはノーマライゼーションの理念に基づく教育を推進し、特別な教育的支援が必要な児童生徒の一人一人のニーズに応じた適切な支援を行う体制づくりを進めるとともに、教育環境の整備を図ることの重要性を確認しました。今後も当委員会は特別支援教育の充実について注視していきます。

## 総務常任委員会

総務常任委員会は主に、政策推進室、総務課、財務課、秘書広報室、税務課、自治安心課、観光産業課、都市計画課、道路交通課、会計課、上下水道課、議会事務局の所管に関する事項及び他の委員会の所管に属さない事項等を取扱っています。

公共交通、また生活道路等の安全対策等も

当委員会の所管となります。

11月11日～12日の2日間、今後の一大事業として注目され、藤久保地域拠点構想の中で計画されている複合施設を、より良い施設にするために他自治体への視察、また皆様の生活の足である公共交通を、より充実させるため、先進地へ視察を予定しています。

## 議会広報広聴常任委員会

議会広報広聴常任委員会ではその名称からわかる通り、議会の広報と住民の意見を幅広く聞き入れる広聴に関する事項を所管しています。今委員会では年に一度のふれあい座談（議会報告会）の開催と議会だよりの編集・発行を主に、様々な形で皆様に議会を身近に感じていただけるよう活動していきます。また年明けには、より読みやすい議会だよりを作るため住民の皆様と共に議会だよりを作る「議会だよリモニター」を募集する予定です。



## 議会運営委員会

議会を円滑に効率的に運営するため各党派から選出された委員によって構成され、議運の管理する仕事の範囲は地方自治法 109 条で定められています。

### ①議会の運営に関する事項

議会の会期日程や運営方法、委員会の構成などを協議します。

### ②議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項

議会運営に関する規則や条例の制定・改廃を協議します。

### ③議長の諮問に関する事項

議長から意見を求められた事項に対し審査、調査し答申します。



# 入間東部地区事務組合

住民の日頃の安心安全を守る消防行政や、し尿処理、しののめの里による斎場運営といった衛生行政は三芳町・富士見市・ふじみ野市の2市1町（管内人口26万人余り）による広域の事務組合という形で運営されています。

平成30年4月より効率的かつ効果的な組合運営を行うため、消防組合と衛生組合が統合して入間東部地区事務組合としてスタートしました。

各市町議会から5名ずつの議員が事務組合議員として選出され、三芳町からは細谷光弘議員・小松伸介議員・鈴木淳議員・久保健二議員・本名洋議員（議席番号順）が事務組合議員として活動をしています。

去る9月27日に定例議会が開催され、平成30年度の決算や高規格救急自動車、それに積み込む医療品や医療器具等の導入についての議案が可決されました。

平成30年度決算は歳入総額41億924万3359円、歳出総額37億8965万291円となり、歳入の86.3%を占める各市町の負担金のうち、三芳町の負担金は7億2365万5329円となりました。

歳出のうち消防費に28億4446万7984円、衛生費に2億8451万4387円が、住民の皆様の安心・安全が守られ、清潔で住みよいまちづくりのために支出されています。

また定例会の後には新たに建設される西消防署富士見分署の概要の説明会が開催されました。富士見分署は富士見市水子の国道463号沿いに令和3年4月開署を目標に建設されることとなります。



高規格救急車について  
令和元年度には、ふじみ野分署配備の高規格救急車の更新と増車予定の高規格救急車1台の計2台が配備される予定です。  
撮影した車両は西消防署の救急西2号車で、配備予定車両と同型車両となります。



# 政策提言に対する進捗状況を確認

平成30年5月17日に提出した提言書「地域の特長を活かした観光資源の整備」について進捗状況を確認しました。

## 提言内容 1

三芳町が目指す観光の姿とはどのようなものなのか、また観光を通じてどのようなまちづくりを行っていくのかを広く町民に示し、計画的に観光施策を実施する必要があると考えるがどのような状況か。

### 【回答】

「三芳町は都心から30km圏内にありながら、今もなお武蔵野の面影が多く残るこの町に愛着をもって住めるまちづくりをするとともにイメージと知名度の向上を図っていく」という想いのもとに次の3本を柱軸とした観光戦略をたて事業を実施してきた。

- ①ホームページやSNS、メディアを活用しての情報発信
- ②魅力アップイベント戦略
- ③新たな魅力発掘・発信戦略

## 提言内容 2

今ある観光資源を有効に活用するためには、観光に特化した部署や組織を設置する必要があると考えるがどのような状況か、また観光施策推進のための人づくりで具体的に進めていることはあるのか。

### 【回答】

平成24年度から環境産業課を組織変更し、環境部門を外し観光部門の強化をすべく観光産業課に名称変更し、観光に取り組む組織として前面に出した。

人づくりについては大変重要なことと認識している。今後も様々な取組みをしていきたい。

## 提言内容 3

これまで以上に町内外に情報発信を効果的に行うためには、情報発信のための観光拠点が必要と考えるがどのような状況か。

### 【回答】

観光情報が整理されていない等のご意見をい

ただくことがあり、これを喫緊の課題と認識している。今後はさらに農業体験等の観光資源の情報を一層集約、発信する拠点を整備していきたい。

## 提言内容 4

三芳町の観光の弱みにおいて「交通の不便や道路交通網の悪さ」が挙げられた。今後、観光施策を進めていくためには駐車場の整備や道路の拡張、歩道や自転車道の整備等のインフラ整備が必要であると考え、今後どのように進めていくのか。

### 【回答】

観光を推進するには交通網の整備や駐車場の確保はとても重要である。三芳町の現状においては、交通の不便は誰もが認識しているところである。今後、「いも街道」、旧島田家住宅周辺を三芳町の観光の拠点として考えた場合、県土整備事務所による「いも街道」の歩道整備の早期の完了が望まれるとともに、旧島田家住宅付近の駐車スペースの整備等による改善が必要と考えるところである。

## 提言内容 5

観光施策を進め、その目的を達成するためには期限を区切り計画を立て、その進捗状況を検証するサイクルが必要と考えるが、今後どのように進めていくのか。

### 【回答】

観光施策の目標達成においては施策の実行と検証の循環が重要であると承知している。第5次総合計画中の施策も毎年進捗状況を報告検証し、計画期間8年間のうち必要が生じた場合は見直しも行いたい。



# 広報クリニックに参加しました

令和元年7月9日に全国町村議会議長会主催による議会広報クリニックが開催されました。三芳町議会が参加した講義では、講師の埼玉県コミュニティーセンター理事長の芳野政明氏による広報クリニックを5つの議会が受けました。議会広報が発行の目的にあった企画・編集になっているか、読みやすさ・わかりやすさを考えて編集されているかなど、様々な視点から広報誌を分析し、解決策を示していただきました。今後の三芳町議会だよりの作成に役立てていきたいと思っております。



<https://www.facebook.com/miyoshimachigikai>



次の議会定例会は

11月29日 (金)



開会の予定です



皆様の傍聴をお待ちしております

▶ 議会の動画を配信しています。



議員の一般質問等の動画をインターネット動画配信サイトYouTube上でご覧になることができます。本号の記事中にある動画のQRコードを読み込むか、下記URLにアクセスしてください。

三芳町議会 中継ページ

<https://www.town.saitama-miyoshi.lg.jp/gikai/gikai-chukei.html>

## 編集後記

8月30日に始まりました定例議会。9月24日の最終日まで、連日の残暑に元気がいっぱい蝉が鳴き続ける中で、の開催となりました。そのような中、台風15号の襲来は千葉県を中心に大きな被害をもたらしました。被害に遭われた方々には心からお見舞い申し上げます。議会初日には議場からの避難訓練を行いました。防災については議会としてもしっかりと取り組んでいきたいと思っております。

さて、本定例会は決算特別委員会が設けられ、平成30年度の決算審査が行われ、限られた予算がどのように使われたのか。そしてそれがより良いまちづくりにつながるかと連日長時間にわたる活発な質疑応答が行われました。このような議会の様子や町民の皆様に分かりやすいようにと本委員会は議会だよりの改革に努めて参りました。が、まだ道半ばです。皆様の意見も作る者にとっては励みになります。皆様にご覧いただくだけでもいいので、どうぞこれからもよろしくお願いたします。

議会広報広聴常任委員会 副委員長 本名 淳

- 委員長 鈴木 本名
- 副委員長 吉本 美津
- 委員 小村 伸介
- 委員 細田 三恵
- 委員 林田 善美
- 委員 落合 典夫
- 委員 桃園 信子

声の議会だより：朗読ボランティア「けやき」の皆さんが朗読したものを三芳町議会ウェブサイトでご覧いただけます。